



迷走台風と防災豆知識

～えっ!?ちょっと待って!は通用しません～

8月最後の週末、台風10号は迷走しながら九州地方から関東地方までの広範囲に大きな爪痕を残して私達の記憶に刻まれました。特に西日本方面にて被災された方々、尊い命を奪われてしまった方々、そしてそのご家族の皆様、心からお悔やみ申し上げます。

いまだ連日の豪雨により、不安で眠れない日々を過ごしておられる方々もおられるでしょう。

今回は、災害時に身を守るために役立つ豆知識をご紹介します。

災害時には、防災の知識が生存を左右すると言っても過言ではありません。避難生活の鍵を握るとも言えます!

それでは**防災豆知識15**についてご紹介しますね。

①水は1人1日3L必要です (料理用も含む)

②防災グッズは大きく分けて3種類あります (携帯用: 避難用: 備蓄用)

③新聞紙は大活躍します (保温性 吸収性に優れています)

○重ねて上着とする ○包帯の代わりに巻く ○濡れた靴の中に入れて乾燥を早めます

④サララップは活用できます(水の節約に) お皿やスプーンに巻きつけて利用し、使用後に外しましょう

⑤段ボールは防音: 保湿に有効です

⑥蓄光シールを貼っておきましょう

暗闇でも発光する蓄光シールを階段や部屋の出入口に貼っておきましょう。停電への備えの1歩になりますね。

また、靴や上着、リュックなどにも貼っておくと事故回避にもなります。

⑦情報が入らないとストレスになる

災害時、適切な情報を取得出来ないことがストレスになります。電池式のモバイルバッテリーやポータブル電源などを備えておきましょう。

⑧レインコートも汎用性が高い 特に真冬には冷え対策として活躍!

⑨懐中電灯とペットボトルでルームライトに

懐中電灯を上向きに置き、その上に水を半分入れたペットボトルを置くだけで、広範囲に光を拡散してくれます。

また、充電式の蛍光灯もおススメです。台風など予測可能な災害が起こりそうな時に充電しておきましょう。

⑩ゴミ袋は多目に!

新聞紙と組み合わせると防寒具や寝具にもなり、インコートや断水時の簡易トイレとして利用するなど、複数のサイズを準備しておくとう用の幅も広がりますね。

⑪家具や家電の転倒防止対策は重要

地震による2次災害(火災)を広げないためにも重要

⑫直ぐに外に出ないこと!

地震がおさまっても直ぐに外に出てはいけません。頭を守るために何かを被り、怪我の防止に努めましょう。

⑬災害時には小銭が活躍する

お店で電子決済は利用出来ないと思っておきましょう。特に自動販売機などでおつりがでない場合などにも役立ちます。

⑭ペットボトルの水を凍らせておくとう便です

水の入っているペットボトルを凍らせておけば、停電時に冷蔵庫へ。食材が痛むリスクを軽減できます。

溶けてしまったら飲料水として利用しましょう。水でなくとも、ご飯でも代用可能ですね。

⑮ハンカチは感染予防として利用する

災害時、マスクが不足することを想定して複数枚用意しておきましょう。

参考文献 防災豆知識より抜粋

今回の台風10号、最後まで迷走していましたね。朝起きて出勤しようとしたら、自宅前の道路が川になっていた!という状態はいつでも自分にも起こり得るんだと思われました。地球温暖化からのゲリラ豪雨や台風などの自然災害にちょっと待って!は、通用しません。いつでもどこでも身を守る行動が取れるようにしておきたいですね。

小林

